

# 名誉教授中村喜和略歴

一九三二年(昭和七年)

一月十六日、長野県埴科郡埴生村(現更埴市)に生まれる。父は芳治、母はふん。

一九五九年(昭和三四年)  
一九六二年(昭和三七年)

同博士課程に進学。

一九三八年(昭和二三年)

村立埴生尋常小学校に入學。

一九四四年(昭和一九年)

同小学校を卒業し、県立屋代中学校に入學。

一九六四年(昭和三九年)

同課程を修了し、日本貿易振興会(ジエトロ)に就職。調査部に勤務。  
三月、日本貿易振興会を退職し、東京大学ならびに一橋大学の非常勤講師となる。

一九四七年(昭和二二年)

九月、病気のため同中学校を休学。

一九六五年(昭和四〇年)

一月、東京大学教養学部専任講師となる。六月から七月にかけ亀井高孝氏に随行してソビエトにおもむき、漂流民大黒屋光太夫の事跡を調査。

一九四八年(昭和二三年)

三月、同中学校を退学。

一九五〇年(昭和二五年)

県立屋代東高等学校定時制に入学。

一九五一年(昭和二六年)

第一学年を修了して同高等学校を退学。一〇月、大学入学資格検定試験に合格。

一九五三年(昭和二八年)

一橋大学経済学部入學。

一九五五年(昭和三〇年)

同社会学部に転部。

一九五七年(昭和三二年)

一橋大学大学院社会学研究科修士課程に入學。

一九五七年(昭和三二年)

同社会学部で外国人ロシア語教師のための国際セミナーで学

一九五七年(昭和三二年)

同社会学部で外国人ロシア語教師のための国際セミナーで学

同社会学部で外国人ロシア語教師のための国際セミナーで学

同社会学部で外国人ロシア語教師のための国際セミナーで学

一九七一年(昭和四六年)  
一九七三年(昭和四八年)

ぶ。

一九七四年(昭和四九年)

一九七七年(昭和五二年)

一九七八年(昭和五三年)

一九七九年(昭和五四年)

一橋寮寮監(一九七三年まで)。  
東京大学文学部非常勤講師(一九九〇年まで。ただし一九八三年度、一九八四年度をのぞく)。  
同じく東京教育大学文学部非常勤講師(一九七四年まで)。  
早稲田大学第一文学部非常勤講師(一九七六年まで)。一二月、教授に昇任。岡山大学法文学部へ非常勤講師として集中講義に出演(一九七五年まで)。  
一橋大学地中海研究会の海外調査に加わり、九月から三か月間ギリシャでフォークロア調査に従事。  
東京大学教養学部非常勤講師(一九八〇年まで)。  
富山大学文学部へ非常勤講師として集中講義に出演(一九八四年、一九九三年にも出演)。北海道大学スラブ研究センター研究員(一九九三年まで)。一九九〇年から一九九三年までは同センター運営委員会委員を兼ねる。

一九八〇年(昭和五五年)

一九八一年(昭和五六年)

一九八二年(昭和五七年)

一九八三年(昭和五八年)

一九八四年(昭和五九年)

一九八五年(昭和六〇年)

一九八六年(昭和六一年)

朝日カルチャー・センター講師(現在にいたる)。一二月から二か月間ギリシャでふたたびフォークロア調査に従事。  
夏、ソビエトにもむき中世文学関係の資料調査。  
小平分校主事ならびに評議員(一九八四年まで)。  
九月、キエフで開催された国際スラヴィスト会議出席のためソビエトへおもむく。一月、レニングラードで開催された日ソ歴史家会議出席のためソビエトへおもむく。  
新潟大学文学部へ非常勤講師として集中講義に出演(一九八七年にも出演)。  
ロシア中世文学に関する資料調査のため、八月から二か月間フランス、イタリア、ソビエトへ出張。  
一橋大学地中海研究会の海外調査に加わり、八月から九月にかけてユーゴスラヴィアでフォークロア調査に従事。

一九八七年(昭和六十二年)

ロシア正教会宣教師ニコライの日記に関する資料の調査のため二月、ソビエトへ出張。天理大学外国語学部へ非常勤講師として集中講義に出講(現在にいたる)。

一九八八年(昭和六三年)

夏、ザグレブで開催されたロシア旧教徒に関する国際会議への出席ならびに同関連資料調査のためユーゴスラヴィア、西ドイツ、オーストリアへ出張。

一九八九年(昭和六四年)

春、ソビエト作家同盟の招待によりヴォログダ、オリョールなどの地方都市を旅行。

一九九〇年(平成二年)

春、ロシア人旧教徒調査のため米国オレゴン州へおもむく。秋、ノヴォシビルスクで開催された旧教徒に関する国際会議出席のためソビエトへおもむく。

一九九二年(平成四年)

三月、一橋大学とロシア科学アカデミー数理経済研究所とのあいだの協力協定調印のためにロ

一九九三年(平成五年)

シアへ出張。国立民族学博物館共同研究員(一九九五年まで)。秋、ツェハノヴェツで開催された旧教徒に関する国際会議出席のためポーランドへおもむく。

一九九四年(平成六年)

五月、中国におけるロシア語教育事情調査のため北京、天津、ハルビンへ旅行。九月から一〇月にかけてドナウ・デルタのロシア人旧教徒の国際会議出席のためルーマニアへおもむく。一月、米国スラヴィスト会議出席のためハワイへ出張。

一九九五年(平成七年)

七月、旧教徒調査のためロシアへおもむく。九月、ウラジヴォストークで開催された旧教徒に関する国際会議出席のためロシアへおもむく。三月、停年規定により一橋大学を退職。同大学名誉教授の称号を与えられる。